

高校受験勉強法



本書は著作物です。複製、複写、転載、転売を禁止します。

Copyright Yasumura Tomomichi All rights reserved

～ 本書の利用法 ～

高校受験合格勉強法をご購入いただき、ありがとうございます。

本書はページ数が多いため、何日かでゆっくりとお読みいただくことをお勧めします。

また、勉強の仕方や具体的方法もたくさん書かれています。

一度にたくさんの事をしようとする、かえって自信を失くすかもしれません。

受験までの日数を考え、やるべき順序を決め、親子の協力のもと

じっくりと取り組んでいただければと思います。

中学生のお子さん自身が読むべき内容となっています。

よって、お子さんに語りかけるような文体としています。

保護者様の読み物は最終章のみとなっていますが、

お子さんへ適切な学習アドバイスをさせていただくためにも、

保護者様もすべての章を一読していただきますようお願いいたします。

それでは、本書がお子さんと保護者様にお役に立ち、
お子さんが志望校に合格されることを心より願っています。

安村 知倫

高校受験勉強法 もくじ

第1章	目標を決めよう	4
第2章	勉強の原則	9
第3章	数学の勉強法	20
第4章	英語の勉強法	30
第5章	理科社会の勉強法	61
第6章	国語の勉強法	87
第7章	計画の立て方	95
第8章	入試直前の勉強法	106
最終章	保護者の方へ	109
特典	面接の受け方マニュアル	
	作文・小論文の書き方マニュアル	
	必修 中学英語構文	150
	返金保証・合格のお祝いについて	

以下、本教材の一部を抜粋しました。

第2章 勉強の原則

原則1 「わかる」ではなく「できる」までする

学校の勉強が「わかる」

学校の勉強が「できる」

これらの2つは似ていますが、まったく違うものです。

学校の授業を聞いて、「ふ～ん、そうなんだ、わかった」。これが「わかる」。

自分の手で解いてみる。「え～っと、こうしてこうして・・・解けた」。これが「できる」。

参考書や問題集のまとめを見て、理解した。これは「わかる」。

まとめや参考書を見ないで自分で解いた。これは「できる」。

家庭教師の先生に教えてもらいながら解いた。これは「わかる」。

先生がいない場面で自分の力で解いた。これは「できる」。

社会がわかりにくいのでノートにまとめた。これは「わかる」。

まとめた後で、問題集を解いた。全部正解した。これは「できる」。

だれかに教えてもらったり、教科書や参考書を見ながら解いた問題は○にしないでください。

自力で解いてみて、できたら○です。

勉強の原則 1

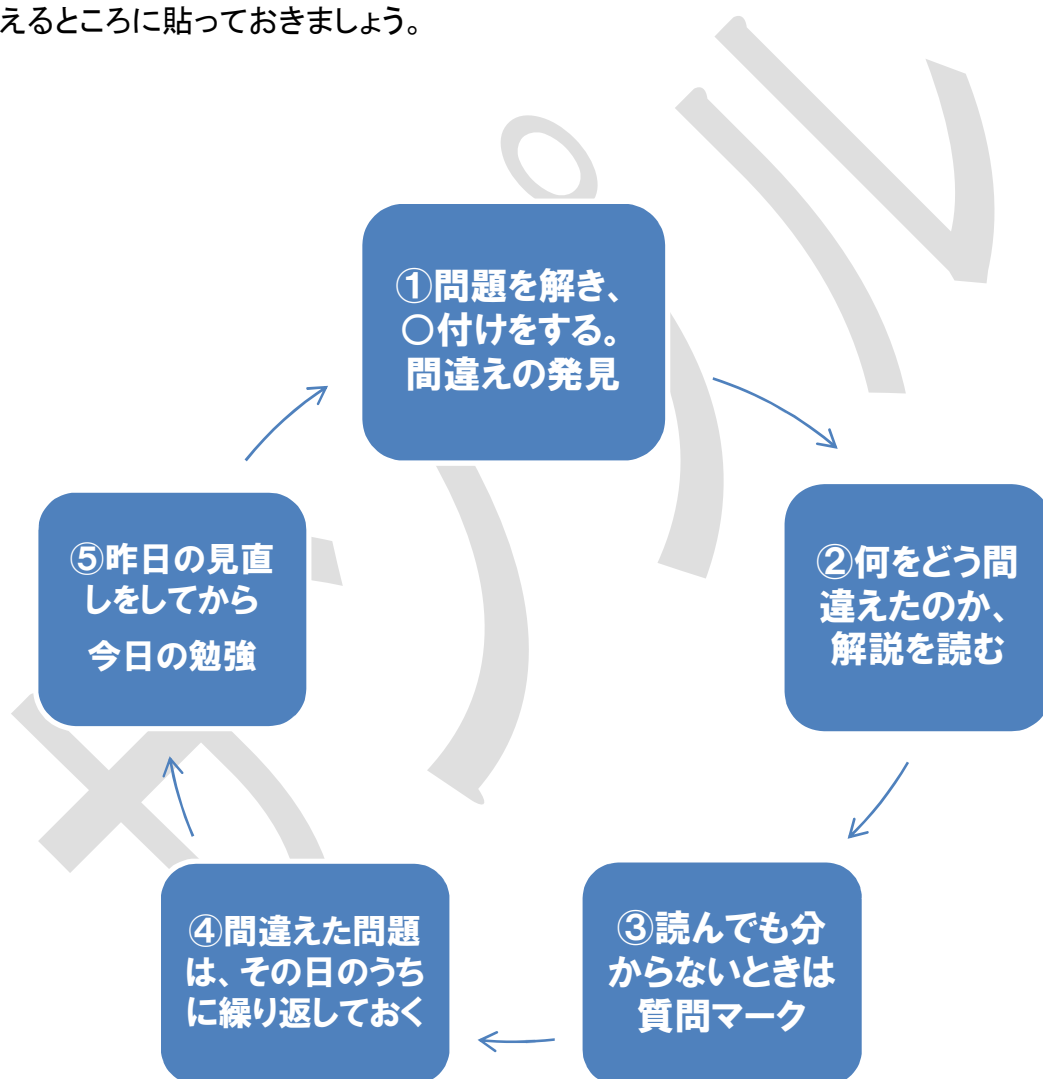
「わかったら」ではなく、「できたら」○。

原則5 効果があがる勉強の手順

それでは、ふだんの勉強の手順を説明しますね。

中間・期末テストでも、受験勉強でも同じです。

問題集やワークをするときに重要な手順ですから、このページをコピーするなどして見えるところに貼っておきましょう。



- ① 学校のワークや問題集で、その日の勉強を始めよう。
問題はノートに解いて、何回も繰り返せるようにしておこう。

丸つけをして、間違えた問題は問題集の口(チェック欄)に☑をしておく。

- ② ☑の入った問題は、解答と解説をよく読もう。
解説を読んで、理解できればOK.

- ③ 解説を読んでもわからない問題は、?や☆マークを付けておこう。
学校の先生や友達に聞いてみよう。

- ④ 間違えた問題は、できるだけその日のうちに解き直してみよう。
早く復習すればするほど、覚えている時間も長くなるぞ。

- ⑤ 次の日は、昨日の勉強内容をさっと見直しをしてから
今日の勉強を始めよう。
昨日の勉強内容が、さらに深く理解できるぞ。

3、図形やグラフのコツ

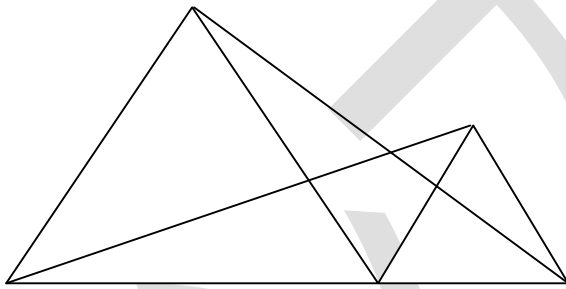
図形やグラフを苦手としている人は多いと思います。

図形とグラフのコツは、**わかっていることをどんどん書きこむ**ということです。

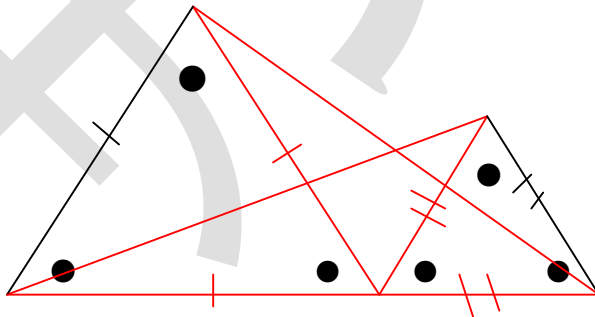
図形やグラフは、ただ問題を見ているだけでは解けません。

例えば正三角形ならば、正三角形の性質を使った問題が出ますから、正三角形の定義や性質を図に書きこみます。

合同証明のこんな問題を見たことがあると思います。



これだけでは分からないので...



証明したい三角形を赤線で書きました。

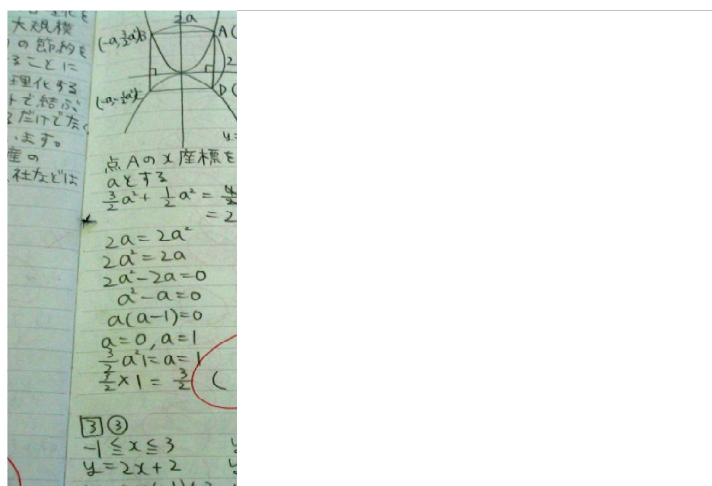
正三角形の三辺が等しいこと、正三角形の角が等しい(60°)ことを書きこみました。

これだけで、2辺が等しくなっているとわかるので、あとは「間の角」をどうすればいいか考えていきます。

解き直しするとき、フリーハンドでノートに図を書き写すようにします。

※ フリーハンド(定規は使わない)

そして、分かっていることを図に書きこみます。



グラフも同様にして、簡単でいいのでノートに書いて解くようにします。

問題文の中に、{ 直線 m は $y = 2x - 3$ } と書いてあれば、
図の直線に $y = 2x - 3$ と書いていきます。

{ 点 B の座標は $(-2, -1)$ } と書いてあれば、それも書きこみます。

自分の手で書くと印象に残りやすく、解き方も覚えやすくなります。

図やグラフはノートに書き、わかることを書きこむ

オススメ問題集と使い方

おすすめ問題集はこちらです。



「高校入試総整理 数学」
教学研究社

※ 学校で復習用の問題集をもらっているなら、
それを使ってもOKです。

問題集の特長

● 3つのレベルに分かれているので、取り組みやすい

1、要点のまとめと実戦例題＝数学が苦手な人

2、A:基礎を確認する問題＝平均点以上ある人

3、B:学力をためす問題＝平均点以上ある人

数学が苦手な人＝

実戦例題

+

A 問題

数学が得意な人＝

A 問題

+

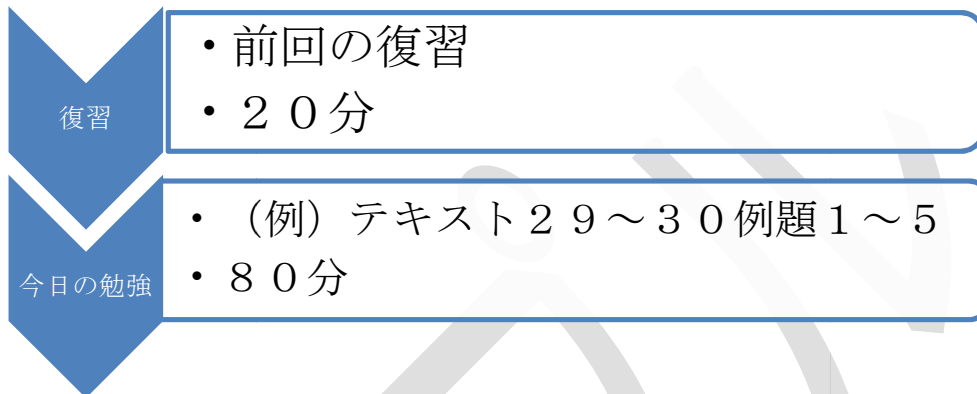
B 問題

すすめかたの目安

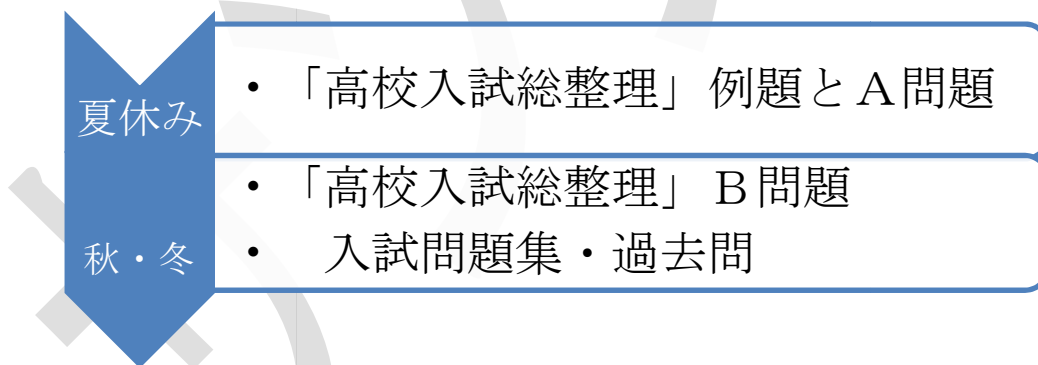
「高校入試総整理」は、3年の分野も合わせて**全部で19の分野**に分かれています。

一つの分野に3時間は必要になりますから、**2日で1分野**するとして、**38日**です。

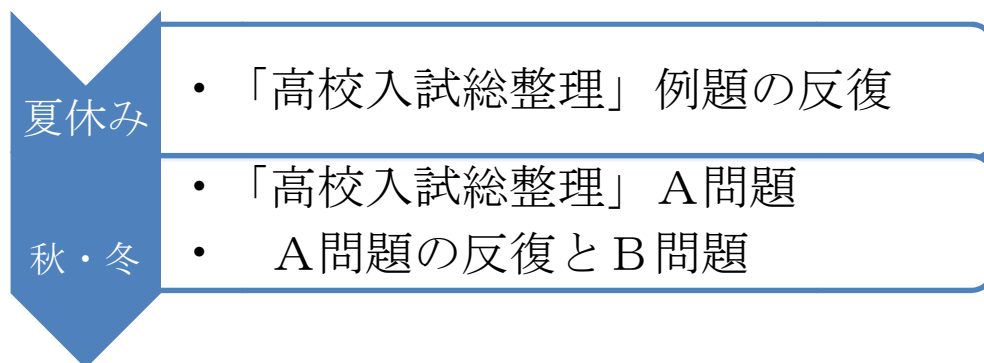
一日の流れ



入試までの目安: 数学が得意な人



入試までの目安: 数学が苦手な人



第4章 英語の勉強法

1、英語の「型」を知ろう

1 文型を知る

文型は高校1年生で正式に学ぶ知識ですが、知っておくと大変有利です。

長文問題の前に、まずは基本となる文型を知りましょう。

一つ問題を出します。

次の日本語を「英語の順番」に並び替えてください。

問題： 私は 、 昨日 、 公園で 、 友達と 、 野球を 、 した

日本語の場合は

「私は公園で昨日野球を友達とした」

「昨日友達と公園で私は野球をした」

など、並べ方が変わっても大丈夫です。

しかし、**英語は語順が決まっているのでそのルールを守る必要があります。**

そのルールが文型です。

文型を覚えれば英語がわかりやすくなり、長文も読みやすくなります。

正解： I played baseball with my friends in the park yesterday. になるので

「 私は した 野球を 友達と 公園で 昨日」

※ 公園で・昨日など時間や場所は最初にくるときもあります

それでは、文型の勉強を始めましょう。

疑問文や一部の例外はありますが、英語は並び方の順番が決まっています。

最初がS(主語) 次がV(動詞)

主語は日本語の「～は、～が」です。 (例) I You Ken My sister
私は あなたは ケンは 私の姉は

動詞は「～する、～である、いる」です。(例) go play like swim visit is
行く する 好む 泳ぐ 訪問する いる

最初がS(主語) 次がV(動詞)

5回言って覚えてしまってください。

文がどれだけ長く複雑になっても、この順番は変わりません。

最初がS(主語 ～は) 次がV(動詞 ～する、いる、ある)

(例1) I run in the park.

私は 走る

(例2) Yuki speaks English very well.

ユキは 話す

(例3) Mr. Tanaka teaches us math every day.

田中先生は 教える

(例4) He is a junior high school student.

彼は ～である

(例5) My grandmother is in Tokyo now.

私の祖母は いる

(スラッシュリーディング 例文)

I go to Asahi Junior High School. I am a member of the brass band club. I play the flute.

Our club has twenty members. We practice hard / every day after school.

We are going to have a cocert / next month. It's a special concert / because we're going to play with elementary school children / in the concert / for the first time. We're looking forward to it.

Last week / our club visited the elementary school / and practiced with the children.

When we played them, / suddenly a boy began to cry. He couldn't play the flute very well.

His name is Kenta. He is ten years old. I said to him, / " Well, Kenta, my part is the flute, too.

Shall we practice together ?" Kenta said, / " Yes, but I can't play like you. I began to play the flute / five months ago. Playing the flute is difficult."

I began to play with Kenta. I said to him, / " When I played the flute / for the first time, / I couldn't play it well. So / I practiced / every day after the club. But / I wasn't alone. My friends joined me / when I was practicing. They helped me a lot. I felt happy / when I played with them. Now / I like to play the flute."

スラッシュを入れると一つの文が短くなり、読みやすく、内容もわかりやすくなります。

ピリオドにスラッシュをいれてもOKです。

英語長文のコツ1

スラッシュをいれて、区切りながら読む

それでは2番目のコツを紹介しましょう。

2番目のコツは、**文章の頭から訳す**ということです。

文全体をながめて、「え〜っと…」と考えるのではなく、文章の最初から訳します。

「文章の頭」というのは、文の最初のことで、S(主語 ~は)V(動詞 ~する、いる、である)のことです。

高校入試の英文はかなり長いし、見ただけで「無理〜！」という感じがしますが、

入試問題の長さを変えることはできないし、その長さに慣れるしかありません。

また、試験時間は限られているので、その時間内に読んで解答する必要があります。

ですから、早く読むトレーニングが必要です。

単純に「**早く読めれば長く考えられる**」ということも、覚えておきましょう。

では、長い文章を早く読むには？

先ほどの文型を踏まえて訳せば大丈夫です。

英語長文のコツ2

最初はSVがくることを意識して、英文の頭から訳す

さきほどと同じ文章でやり方を説明しましょう。

社会が苦手なキミへ

社会は「覚えてなんぼ」の科目です。

しかし、その「覚える」が苦手な中学生も多いですね。

その理由の一つが、何から覚えていいかわからないということ。

ですから、**覚える優先順位を決める**ことが大切です。

ところで、キミの住む地域は雪が降りますか？

雪が降る地域のきみは、雪だるまを作ったことがあるでしょ？

雪だるまを作るとき、最初に何をしますか？

両手で雪を取って、それを固めて雪玉を作るよね？

その雪玉を雪の上に転がしていくと、雪玉の周りに雪が付いて大きくなっていくね。

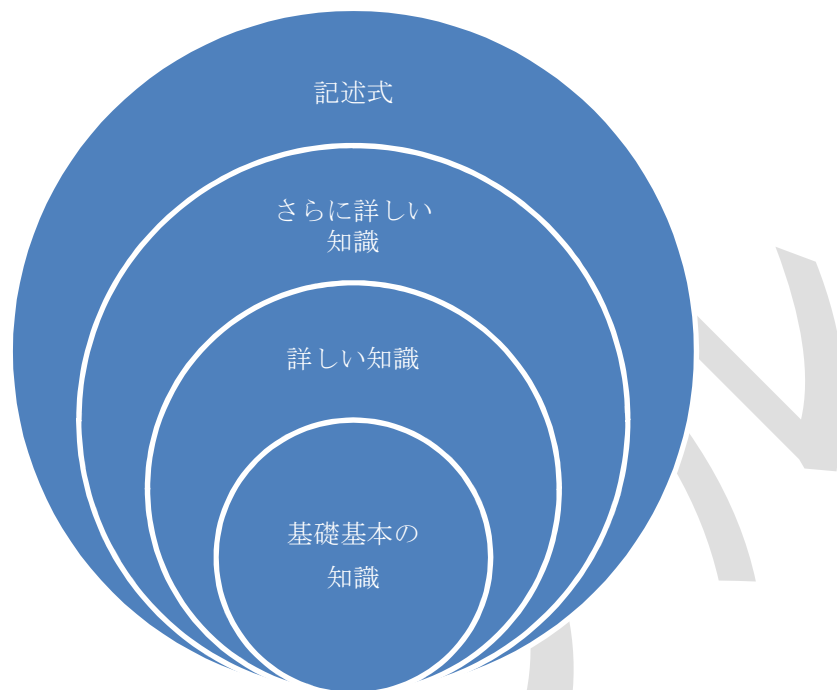
社会の暗記も雪だるまを作るように、

1、最初は知識の中心となる「核」を作る。

その核に、**2、関係のある知識をつなげて覚えている量を増やしていきます。**

まずは、教科書に太字で書いてあるような「核」を覚えよう。

それからだんだん細かい知識を増やしていきます。



最初から細かいことまで全部覚えようとすると、シンドイし、やる気をなくします。

歴史であれば、歴史のおおまかな流れや重要語句を覚えます。

中1・中2のときに社会が得意であった人も、

もう一度、基礎基本の確認から受験勉強をスタートする方がよいでしょう。

なぜなら、自分が思っている以上に忘れていたからです。

それでは、社会の勉強をどのようにすすめていけばよいか説明します。

国語についてのカン違い

- **国語はセンスで解くもの**

国語は生まれつきのセンスで解くものではありません。

国語の点数が良い中学生は、センスで解いているわけではありません。

- **読書をすれば点数が上がる**

小さいころから読書が好きならば言葉を多く知っていると思います。

しかし、読書は大好きだけど国語の点数が悪い中学生もいます。

- **国語ができれば、すべての科目の点数がよくなる**

国語はすべての科目の土台になる。

これは確かです。

すべての勉強には、文章の意味を正しく理解し、内容を読みとる力が必要です。

しかし、他の科目は点数が良いのに国語だけできない中学生もいます。

- **国語は勉強しても点数が上がらない**

国語は勉強すれば点数が上がります。

国語の点数を上げる方法

では、国語はどんなふうに勉強すればいいのでしょうか？

大切な事が3つあります。

1、一つひとつの文をゆっくり読む。

国語の本文を読むときは、他の科目以上にゆっくり読みます。

実際のテストでは時間制限がありますが、家で勉強する時は時間をかけてかまいません。

2、自分の考えはいれない

国語の点数が取れない人は、たいてい自分の解釈や勘^{かん}に頼ってしまいます。

「次のア～エの中から選びなさい」という選択問題であれば、

< なんとなく、これっぽいな～ >と考えるを選んでしまいます。

国語では**自分の考え方や感じ方は横においておきます。**

小学校の授業では、「あなたはどう思いますか？」と発表したかもしれませんが、

< 私はこう感じる、僕はこう思う > は考えません。

「僕はこう考えるけど・・・」は心の中にしまっておきます。

とくに随筆(新聞の投稿のような文)や説明文(新聞記事や社説のような文)では、自分の考え方を入れているはいけません。

3、答えの根拠をさがす

国語と英語長文問題の最初に何と書いてあるか思い出してください。

国語の問題の最初に、何と書いてありますか？

次の文章を読んであとの各問に答えなさい。

必ずそう書いてありますか？

これは、**文章中に答えそのものやヒントがある**ということを意味しています。

ほとんどの問題は、文章の中の主張部分をそのまま書くか、いくつかの文を切って張り合わせるなどすれば正解を導き出せます。

ですから、**問題を解くとき、答えが本文中のどこに書いてあったか線を引いて**みてください。

「ここに、こう書いてあるから……」と思った部分に線を入れてみてください。

正解しなくてもいいので **答えの根拠を示してください。**

どれだけ時間がかかってもいいので、理由もなしに答えを書かないようにします。

選択問題も、感性やなんとなく正解っぽいというだけで答えを選ばないようにします。

逆に言えば、**本文に書いてない選択肢は✓して消せばいい**のです。

自分なりの根拠をもって問題を解いたら、答え合わせをします。

自分なりに本文中の根拠を示して書いたけれど間違っていた場合は、解説を熟読します。

まずは、英語と同じく指示語から。ここかな？と思った部分に線を引いてみよう。

例1、次の文章を読み、問に答えなさい。

シロアリの本来の働きは、森林を若返らせることにあり、彼らは森林の若返りの担い手である。

森林の中で、新しい実や若い木を食べるのではなく、朽ちた木や木としてすでに生命を失ったものを食べて、それを再生させるという、生態系の中でたいへん好ましい役割をしていたのだ。
(中村雄二郎さんの文章より)

問1、それは何を指していますか。文中から抜き出さない。

例2、次の文章を読み、問に答えなさい。

トキの保護に懸命なみなさんのようすが報じられると、「なぜあんなに必死になるのだろう。トキが絶滅したって、人間の生活に関係ないよ。」と考える人もでてくるだろう。

メダカも同じである。

メダカが絶滅しそうだといわれても「童謡に歌われているけれど、食料になるわけではないし、絶滅したって困らない」と考える人もいると思う。

こういう発想が出てくるのは、ある生物が絶滅しても、それが自分にどう跳ね返ってくるか、見えないからである。
(養老孟司さんの文章より)

問1、こういう発想とは、どのような発想ですか。二十五字以内で書きなさい。

例1、次の文章を読み、問に答えなさい。

シロアリの本来の働きは、森林を若返らせることにあり、彼らは森林の若返りの担い手である。

森林の中で、新しい実や若い木を食べるのではなく、**朽ちた木や木としてすでに生命を失ったもの**を食べて、**それを再生させる**という、生態系の中でたいへん好ましい役割をしていたのだ。
(中村雄二郎の文章より)

問1、それは何を指していますか。文中から抜き出さない。

解答 朽ちた木や木としてすでに生命を失ったもの

アドバイス…直前を見よう。書いてあるよ。

アドバイス…**朽ちた木や木としてすでに生命を失ったもの(を再生させる)**で本文にピッタリ入る

例2、次の文章を読み、問に答えなさい。

トキの保護に懸命なみなさんのようすが報じられると、「なぜあんなに必死になるのだろう。**トキが絶滅したって、人間の生活に関係ないよ。**」と考える人もでてくるだろう。

メダカも同じである。

メダカが絶滅しそうだといわれても「童謡に歌われているけれど、食料になるわけではないし、**絶滅したって困らない**」と考える人もいると思う。

こういう発想が出てくるのは、ある生物が絶滅しても、それが自分にどう跳ね返ってくるか、見えないからである。
(養老孟司さんの文章より)

問1、こういう発想とは、どのような発想ですか。三十五字以内で書きなさい。

解答例 ある生物が絶滅しても人間の生活に関係ないので困らないという発想。

アドバイス…トキとメダカの2つが書いてあるから2つをまとめよう。

アドバイス…「どのような発想ですか」だから、「という発想」で締めくくります。

アドバイス…〇〇字以内は90%を目標に。20字以内なら20×0.9=18字を目標に。

次は、心情の読み取りです。

第7章 計画の立て方

ここまで読んでいかがですか？

やることが多くて大変だなと思ったかもしれません。

受験というのは、平等に与えられた時間の中での競争ですから、

自分に必要な勉強をいかに効率よくやるかが重要です。

そこで、毎日の計画の立て方のアドバイスです。

よくある失敗例

テスト前に学校の先生から「テストの計画立てて提出」と言われていませんか？

それで、こんな感じで書いちゃう。

	10/10	10/11	10/12
4:30~	国語	社会	国語
5:30~	数学	数学	英語
7:00~	夕食	夕食	夕食
8:00~	風呂	テレビ	風呂
8:30~	英語	英語	数学
10:00~	理科	理科	社会
11:00~	就寝	就寝	就寝

時間を細かく区切って勉強しようとしている。

これを守れる中学生っているのかな？と疑問です。

少なくとも僕は時間で区切って勉強したことはないし、生徒にもおすすめしません。

だって、この通りにならないですから。

いつも時計を見てしまい、「あと何分かな」と気になる。

机に向かっているけど、ぼんやりと過ごしてしまう。

さらに、計画どおりいかないとイライラしてストレスになる。

途中で「もう、や～めた！」ってことになりやすい。

受験はいかに継続して勉強するかが大切です。……

そこで、次の3ステップで、継続するための計画を立ててみてください。

継続のステップ 1 空いている時間をはっきりさせる

まずは、今の生活を振り返ってみます。

部活動がある人・ない人、塾に通っている人・いない人、

他の習い事がある人・ない人で違ってくるでしょう。

あなたが一日をどんなふうに過ごしているのか、紙に書き出してみます。

そして、あなたが自由に使える時間がどれくらいあるのかハッキリさせましょう。

自由な時間がわかれば、そのうち「勉強できるのは何曜日の何時から何時か、

土日はどう過ごすのか」なども組立てやすくなります。

勉強の計画は「先生に計画を立てると言われたから……」の理由で考えるものではありません。

繰り返しますが、**自分に必要な勉強を効率よくやるために立てるものです。**

それでは、キミの「空いている時間」をはっきりさせましょう。

一週間の予定の中に、時間が決まっていることを書きこんでいきます。

	月	火	水	木	金	土	日
AM						学校	サッカー
						宿題	サッカー
	学校	学校	学校	学校	学校		
						遊び	遊び
						↓	↓
4:30						遊び	遊び
5:00							
5:30							
6:00							
6:30	夕食						
7:00	塾	学校宿題	学校宿題	塾	学校宿題		
7:30		学校宿題	学校宿題		学校宿題		
8:00	↓	テレビ	ゲーム	↓	ゲーム		
8:30		テレビ	ゲーム		ゲーム	テレビ	テレビ
9:00	塾			塾		テレビ	テレビ
9:30							
10:00	塾宿題			塾宿題			
10:30	↓			↓			
11:00	塾宿題			塾宿題			
11:30	風呂就寝						

テレビは絶対見るな！とは言いませんから、見たい番組をしぼってください。

上のマネをして、塾や習い事、スポーツクラブの時間を書きこんでいきます。

学校や塾の宿題をする時間、食事や風呂の時間も書きこんでおきます。

実力テストの対策

3年生は中間・期末テストのほかに、学校の実力テストがあります。

また、地域によって「〇〇県統一テスト」や「〇〇市判定テスト」といった、地域のテストがあると思います。

学校で新しい事を習いながら、実力テストの準備や1年2年の復習も同時にやらなければなりません。

すると、こんなことが起きます。

範囲が決まった小テストはできるけど、実力テストはできない・・・

中間・期末はよいけど、範囲が広がると成績がすごく下がる・・・

実力テストは範囲が広すぎて、何をしてもよいかわからない・・・

こんなときはどうすればよいでしょうか。

先ほど「計画の立て方」を説明しましたが、実力テストの日程によってそれらを柔軟に対応させましょう。

もし、実力テストの範囲があるならば、範囲に合わせた勉強をすればよいです。

範囲が広すぎたり、範囲が発表されない場合はどうすればいいのでしょうか？

3、2週間前の勉強法

残り2週間になりました。

頑張っていることと思います。

風邪は大丈夫ですか？

さて、2週間前になったら、もう難問に挑戦するのはやめておきましょう。

自信をなくします。

今日からは新しい問題には一切手を出さず、復習を徹底してください。

この2週間でやってほしいのは、2つです。

1、数学・理科の公式総復習。英語基本文総復習。理科・社会一問一答総復習。

最後に基本事項を確認しておきましょう。

試験本番になって、「あ～、こんなの簡単なのに、忘れた～」とならないように。

基本を総復習することによって、頭の中をもう一度整理整頓しておきます。

理科と社会は教科書を最初から最後まで読むこともオススメです。

2、入試過去問の復習。模擬試験の総復習。

今までにやった過去問や模試の総復習をしておきます。

間違えた問題を中心に解きなおしてみます。

もう一度解きなおしておくことで、自信になります。

塾選びのコツ

友達に「〇〇塾ってどう？」と聞いてみる。

または近所の方に「□□ゼミは～だそうよ」と評判を聞く。

「あそこの△△ちゃんは・・・塾で成績上がったんだって！」という話もあるでしょう。

「〇〇くんは□□高校に合格だって！塾はどこへ行っていたの？」

塾を検討するのであれば、ひとの話を聞くのは当たり前です。

大切なお子さんを預けるのですから、慎重になって当然です。

しかし、塾へ通うのはあなたのお子さんです。

塾へ行って勉強するのは、お子さん自身です。

お子さんと、うわさで聞いた「〇〇くん」とは別人であるということを意識してください。

「うちの子にとってよいのはどんな塾か？」を考えてあげるのが先だと思います。

ウワサになるお子さんは、うわさになるほど目立っているということだけで、そのほかにも大勢の生徒がいるのです。

「うちの子は、集団授業では質問などもしにくいだろう。少人数のほうがいい。」

「集団の中で競争したほうが、うちの子にはよさそう」

「一対一でじっくりみてもらったほうがいい」

「家から近くて通いやすいのが一番」

「夜遅くて心配だし、送り迎えもできそうになりから家庭教師かな」

「うちの子は数学だけ習いたいから単科の塾がいい」

まずは、何を最優先にするのか家族のみんなで考えてみましょう。

そして、いくつかの塾が候補にあがったら、体験授業を受けさせることをオススメします。

入塾したあとで、「こんなはずじゃなかった！」と後悔するのは悲しいです。

教室の雰囲気はどうか(質問できそうか)。

先生はどんな人か(わかりやすく当たり前です)。

宿題はどれくらい出るか(無理がない量か)

実際にお子さんがその塾と一緒に勉強してみて、お子さんが続けていけそうなら正式な入塾を検討します。

体験授業の「想像していたのとは違った」という感想は珍しくありません。

保護者さまが先導して塾を選ぶ場合も、お子さんが納得した上で入塾しないと

それが成績の伸び悩む原因になりかねません。

塾で成績アップを望むなら

塾の役割は成績アップです。

そして、志望高校に合格させることです。

しかし、**塾に行けば自動的に成績があがるわけではありません。**

教えてもらったことも、復習して自分でできるようにならないと成績は上がりません。

そこで多くの塾は、宿題を出して知識や解法を定着させようとするわけです。

宿題がない塾もまれにありますが、その場合は単元ごとの確認テストがあって「合格しなければ追試」という形をとるなどします。

要するに、**生徒が自分ひとりで問題を解くことができるように仕向ける**わけです。

テストは生徒が受けるものだし、テスト中は誰も教えてくれないからです。

塾は自分で問題を解けるようになるために利用する、手段に過ぎません。

塾へ通っても、宿題をしなければ成績は上がらないと考えてください。

教えてもらったことが定着しなければ、点数に結びつくことはありません。

定着するかしないかは、本人の努力によって決まると考えてください。

2、言ってはいけないNGワード

最初に、これは減点されるというNGワードの説明をします。

その前に、最初にあげた「面接のポイント」を復習しておきましょう。

校長先生や面接の先生は君の何を見たいのか……？

- 1、態度・服装・礼儀作法・言葉づかい
- 2、この高校に入りたいという**熱意**
- 3、高校入学後の**意欲**や**積極性**

熱意・意欲・積極性ということ。

だから、**NGワードは、「わかりません・考えていません」**などです。

例えば、「部活動は何をしますか？」という質問に対して、キミが本当にまだ考えていないとしても、**「まだ考えていませんが、入学後は運動部に入ろうと思っています。」**と答えましょう。

「考えていません」だけだと、消極的と受けとられます。

前向きな発言、積極的な発言を心がけましょう。

積極的な発言は「自分はこの高校に入って頑張りたい！」という熱意・意欲と受け取ってもらえます。

まず、おおまかな構成を考えます。

すぐに原稿用紙に書くと、途中で原稿用紙がたくさん余ったり、足りなくなったりするかもしれないからです。

また、構成を考えることによって、途中で「次は何を書こうか…」と考える時間が短縮され、結局は無駄なく時間が使えるからです。

(例: 高校生活で取り組みたいこと)

高校生活ですから未来のことだけを考えてしまいそうですが、これを過去にさかのぼって書いていきます。

未来 英検2級を取りたい



現在 英検3級を持っている



過去 一度3級に落ちてしまった。

このように、「英検2級」にまつわる過去・現在のことを書いていきます。

おおまか過ぎるので、少し「肉付け」をしてみましょう。

未来 英検2級を取りたい。

将来は海外で働くか、
キャビンアテンダントになるのが夢



現在 英検3級を持っている。

英語に興味がある。
もっと外国の事を知りたい。



過去 一度3級に落ちてしまった。

悔しかったが、努力をして合格。
よい経験になった。

過去→現在→未来のストーリーで書くと、**読み手も読みやすい**作文になります。

おおまかな構成ができれば、原稿用紙に書いてみます。

書きあがったら、必ず先生や保護者の方に添削してもらいましょう。

誤字脱字、文のつながり、原稿用紙の使い方をチェックしてもらいます。

以上でサンプルは終わりです。

お読みいただきありがとうございました。

抜粋ですので、読みにくい部分もあったかもしれません。

本教材は特典を含めて184ページありますが、

教材の雰囲気だけでも感じていただけたかと思います。

教材についてのご質問などありましたら、

下記のアドレスよりメールをください。

教材のご質問メール plalazaku@cpost.plala.or.jp

画面左上の「←」ボタンで販売ページに戻ります。

お時間をとっていただき、ありがとうございました。

お子さんの成績向上と志望校合格を願っています。

安村知倫